

最新情報を
毎月発信!

滋賀県立成人病センター

第16回がん診療セミナー

滋賀県立成人病センターでは、がん診療を担う若手医師養成を目的とした「がん専門医臨床研修プログラム」の一環として、毎月1回「がん診療セミナー」を開催しております。

このセミナーは、研修プログラムを受講する医師だけでなく、看護師、技師、その他の医療職を対象としたオープンセミナーとして開催いたします。県内医療機関のみならず、関心のある方でしたら、患者さんや一般市民など、どなたでもご参加いただけます。多数のみなさまの参加をお待ちしています。

5月25日(水)
17:30~19:00

がん診療と放射線被ばく

がんの診療(診断と治療)では放射線が大変重要な役割を担っています。検診の胸部写真やCTを始め、最新の診断機器PETなども放射線を利用しており、がんの診断に放射線は欠かせません。また、一般的な放射線治療以外にも、内用療法と呼ばれる「身体の中からがん放射線を当てる」放射線治療も広まって来ています。がん診療における放射線の有用性と、それにとまなう医療被ばくの問題を講義します。さらに今回のセミナーでは原発事故問題で注目されている放射線被ばくの問題についても、一般の方にもよくわかるようにお話しいたします。

講演1 がん診断に役立つPET薬剤の合成・開発

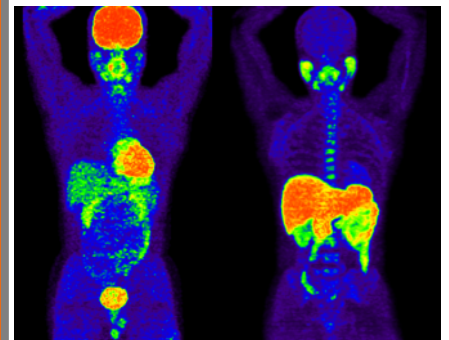
滋賀県立成人病センター研究所

主任研究員(薬剤師) 加川 信也

講演2 放射線によるがん診断・治療と被ばく

滋賀県立成人病センター研究所

総括研究員(医師) 東 達也



【会場案内図】



日時 平成23年5月25日(水) 17:30~19:00
(受付17:00~)

会場 滋賀県立成人病センター研究所講堂
【住所】守山市守山5-4-30
【交通】JR守山駅からバス約10分

対象者 医療関係者(一般の方のご参加も歓迎します)

定員 150名(当日先着順)

申込不要・参加費無料

今回のセミナーは日本医師会生涯教育制度指定講習会(1.5単位)です。